

環境ラベルロゴ（前田道路
提供）



低炭素合材
MAEDA ROAD

的にPRできるなどのメリットがある。

同社は2030年度の二酸化炭素（CO²）排出削減目標を13年度比で50%、50年度にカーボンニュートラルを目指している。これまでバイオマス由来の燃料や再生可能エネルギー由来

の電力（RE100）の使用などで工場、営業所の低炭素化を推進。アスファルト舗装材の製造工場にはフオームドアスファルト装置（LEAB）を設けるなど、今後もCO²排出削減の取り組みを強化していく。

低炭素合材の利用促進

環境ラベルDB登録

前田道路

前田道路が国際規格ISO14021（タイプII）を満たす自己宣言型の環境ラベル「MAEDAサーキュラー」を制定した。低炭

素な製造手法で製造したアスファルト合材を周知することが目的。サプライチェーン（供給網）全体で脱炭素化に貢献できるように取り

組みを加速していく。

環境ラベルは10月1日に環境省のデータベース（DB）に登録。低炭素合材の製品販売、適用工事を対象に商品伝票やミルシー、工事完了報告書などに付与される。商品購入者は環境負荷低減効果を理解しやすくなる。

低炭素合材の販売時に発行される二酸化炭素（CO²）排出削減量を示したアクシヨンプリポートに付与されるため、施業者はサプライチェーン排出量（スコップ3）の取り組みを積極

